

日本史籍講読6B－Ⅱ

科目ナンバリング JPH-228
選択必修 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

幕末維新期に記された史料をテキストとして、史料の読解力を養い、史料の背景にある時代状況や地域の在りようについて調査・考察する力を身につける。テキストには、各藩もしくは各地域における戊辰戦争に関する史料を取り上げる。各自一つの史料を担当して、段階的に3回発表を行うことで内容の理解を深めるとともに、調査方法を自ら探索していく。他の受講者の担当史料についても、自分の担当箇所と対照させながら互いに活発に議論を行い、それぞれにおける対応の諸相を考察することで、幕末維新期に対する理解を深める。

2. 授業の到達目標

- ・近世史料の読解力を養うとともに、関連する史料や文献の探し方、調べ方を修得する。
- ・史料の歴史的価値を理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①予習に基づいた、毎回の授業への参加度(20%)
- ②発表担当の際の準備度合いおよびその発表内容(60%)
- ③後期末に提出するレポートの内容(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

奈倉哲三・保谷徹・箱石大 戊辰戦争の新視点(上)世界・政治 吉川弘文館
奈倉哲三・保谷徹・箱石大 戊辰戦争の新視点(下)軍事・民衆 吉川弘文館
箱石大 戊辰戦争の史料学 勉誠出版
保谷徹 戦争の日本史 18 戊辰戦争 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

- ・発表者が担当する史料について、発表者以外の受講者も各自で読み方や意味を調べ、文意と内容を把握して授業に臨む。
- ・必要に応じて他の史料や参考文献にあたり、背景となる政治や社会状況についても説明できるようにする。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の予習は必須である。
- ・史料の読み方や内容を確認し、分からないところをはっきりさせた上で授業に出席すること。
- ・議論へも積極的に参加すること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 【第1回】 | 授業の内容、評価等についてのガイダンス／テキストの分担および発表順番決定 |
| 【第2回】 | 史料の読解および周辺情報の整理 |
| 【第3回】 | プレ発表①:担当する史料の概要 |
| 【第4回】 | プレ発表②:担当する史料の概要 |
| 【第5回】 | プレ発表③:担当する史料の概要 |
| 【第6回】 | 史料の読解および周辺情報の整理(オンライン) |
| 【第7回】 | 本発表①:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告 |
| 【第8回】 | 本発表②:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告 |
| 【第9回】 | 本発表③:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告 |
| 【第10回】 | 本発表④:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告 |
| 【第11回】 | 本発表⑤:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告 |
| 【第12回】 | 本発表⑥:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告 |
| 【第13回】 | 補足発表①:本発表の補足 |
| 【第14回】 | 補足発表②:本発表の補足／期末レポートについての説明 |
| 【第15回】 | 補足発表③:本発表の補足 |